

- 39.本当に火獄がその住まいであろう。
- 40.だが主の御前に立つことを恐れた者、また低劣な欲望に対し（自分の）魂を抑制した者は、
- 41.本当に樂園がその住まいであろう。
- 42.かれらはその時に就いて、あなたに問う。「それが到来するのは、何時（の日）ですか。」
- 43.あなたは、何によってそれを告げられようか。
- 44.その終末（の知識）は、あなたの主にあるだけ。
- 45.あなたは、それを恐れる者への、一人の警告者に過ぎない。
- 46.かれらがそれを見る日、（墓の中に）滞留していたのは、一夕か一朝に過ぎなかったように思うであろう。

SURA 80.眉をひそめて章 [アバサ]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.（ムハンマドは）眉をひそめ、顔を背けた。
- 2.一人の盲人がやって来（て話が中断され）たためである。
- 3.あなたにどうして分ろうか、かれは清められるかも知れないことが。
- 4.または訓戒を受け入れて、その教えはかれを益するかもしれないことが。
- 5.だが何の助けもいない者（財産家）には、
- 6.（関心をもって）応待する。
- 7.しかもかれが自ら清めなくても、あなたに責任はない。
- 8.だが熱心に（信仰を）求めてあなたの許に来た者で、
- 9.畏敬の念を抱いている者には、
- 10.あなたは軽視した。
- 11.断じてそうであるべきではない。本当にこれ（クルアーン）は訓戒である。
- 12.だから誰でも望む者には、訓戒を念じさせなさい。
- 13.それは（アッラーの御許にある）帳簿に記されているもの。
- 14.至高にして清純なもの。
- 15.書記たち（天使）の手で（記録されたもの）。
- 16.気高く敬虔な（書記たち）。
- 17.人間（不信心者）に災いあれ。何とかかれは忘恩なことよ。

- 18.かれはどんなものから、かれを創られるのか。
- 19.一滴の精液からである。かれは、かれを創り、それから五体を整えられ、
- 20.(母の胎内からの)かれの道を容易になされ、
- 21.やがてかれを死なせて墓場に埋め、
- 22.それから御望・の時に、かれを甦らせる。
- 23.いや、かれが命じられたことを、(不信仰者は)果さなかった。
- 24.かれに、自分の食物に就いて考えさせて・るがよい。
- 25.本当にわれは、水(雨)を豊かに注ぎ、
- 26.次いで大地を裂いて切れ切れにし、
- 27.そこに生長させるものには、穀物、
- 28.またブドーや青草、
- 29.オリーブやナツメヤシ、
- 30.繁茂した庭園、
- 31.果物や牧草(がある)。
- 32.あなたがたとあなたがたの家畜のための用益である。
- 33.やがて、(終末の)一声が高鳴り、
- 34.人が自分の兄弟から逃れる日、
- 35.自分の母や父や、
- 36.また自分の妻や子女から(逃れる日)。
- 37.その日誰もかれも自分のことで手いっぱい。
- 38.(或る者たちの)顔は、その日輝き、
- 39.笑い、且つ喜ぶ。
- 40.だが(或る者たちの)顔は、その日挨に塗れ、
- 41.暗黒が顔を覆う。
- 42.これらの者こそ、不信心な者、放蕩者である。

SURA 81.包・隠す章 [アッ・タクウィール]

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

- 1.太陽が包・隠される時、